

# 健康のかけはし

## 大田病院の「理念」

- 私たちの病院は
- ① だれでも安心してかかる病院
  - ② 心の通いあう、あたたかい病院
  - ③ 地域の人々と共に歩む病院
- であることをめざします。

No. 49  
2016年1月29日

大田病院

〒143-0012 東京都大田区大森東4-4-14  
TEL 03-3762-8421 発行責任者 渡邊 峰人

大田病院は基幹型  
臨床研修病院です

2016年新年のごあいさつ

大田病院院長 田村直

明けましておめでとうござい  
ます。よく晴れたうららかなお  
正月でしたが皆さまはどのよう  
にお過ごしになりましたか。

昨年大田病院に多くのご支  
援をいただきありがとうございます  
ました。昨年7月に日本病院機  
能評価機構の審査を受け、無  
事、3回目の認定をいただきま  
した。そのなかで東京ルールを  
はじめとした救急医療の取り組  
み、無料低額診療事業などの無  
差別平等の医療の追及は地域医  
療への貢献度が極めて高いと評  
価されました。認定書にはミ  
シランではないですが「三ツ  
星」が燦然と輝いています。今  
後も医療の質の向上、安全のさ  
らなる取り組みを続けていきま  
いと思ひます。

5つ以上の病院に断られてし  
まう救急車（東京ルール事例）  
は昨年2件/日まで減少しまし  
た。ピーク時4・6件/日だっ  
たことを考えると大きな前進で



す。これも大田区・品川区の救  
急指定病院が「大変でも救急車  
を断らずに積極的に受けよう」  
という努力のたまものだと思ひ  
ます。年に3回行っている地域  
救急会議でも東京ルールに関す  
る苦情はすいぶん少なくなりま  
した。引き続き幹事病院として  
の役割を果たしていきます。

1月からHCU（ハイケアユ  
ニット）4床が稼働していま  
す。ICU（集中治療室）より  
軽装備の重症治療専用病室で  
す。これによって重症治療をよ  
り効率よく行えたらと思ひてい  
ます。さらに4月からはDPC  
という厚生労働省の仕組みに参  
加します。これによってDPC  
に参加している大田区・品川区  
のほとんどの救急病院との診療  
内容の比較などができるよう  
になります。4月の診療報酬改定  
も気になるところですが、今年  
もしっかりやるべきことをやっ  
ていきたいと思ひます。今年も  
よろしくお願ひいたします。



## (シリーズ企画) 訪問看護ステーション紹介

城南福祉医療協会には訪問看護ステーションがあり、日々地域の患者さまの在宅生活をサポートしています。

### ゆたか訪問看護ステーション

(問い合わせ先) 03-5751-3952

品川区全域と東馬込の一部を訪問エリアとしています。  
2014年5月にゆたか訪問看護ステーションと西品川訪  
問看護ステーションが統合しました。西品川訪問看護ス  
テーションは営業所となりました。

24時間対応の体制を整えており、「住み慣れた家で、  
自分らしく療養したい」方、ご自宅で「最期まで過ごさせ  
たい」と考えているご家族と一緒に支援します。「身の回

りのことを自立したい」方には、リハビリセラピストと共  
に、在宅でのリハビリを積極的、根気強く行っています。  
ALS、パーキンソン病などの各種難病、精神疾患、障害  
のある方々等、小児も含めて看護が必要な方へ訪問します。  
子育て中の若手から超ベテラン看護師まで、経験豊富なス  
タッフがチームワーク良く和気あいあいと働いています。  
(所長 若井千恵子)



城南福祉医療協会  
ゆたか訪問看護  
ステーション



西品川営業所  
ゆたか訪問看護

# 「定額報酬支払(DPC/PDPS)制度」について(前編)

## 4月から大田病院は「DPC対象病院」となる予定です

城南福祉医療協会理事長／大田病院副院長 千田 宏 司

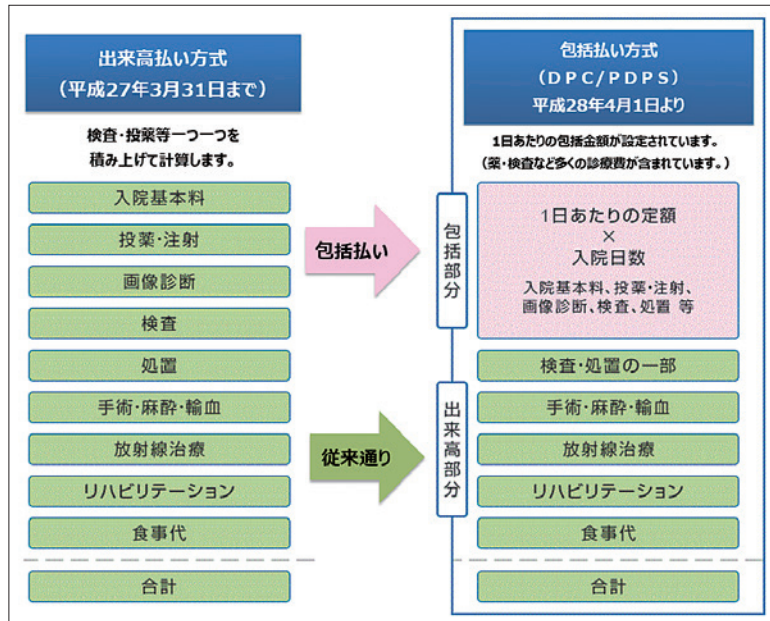
日本の急性期入院医療は、基本的に使った薬や医材、行った診療行為などを合計した診療報酬が支払われる「出来高払い」という支払い制度で行われてきました。しかし医療レベルを向上させると同時に医療費増加を抑えたいという国の政策の一環として、一連の診療行為をひとまとめでして支払う「包括評価」への移行がすすめられてきました。

DPC制度は、2003年度から大学病院などの特定機能病院を対象に試行されました。その後、民間の急性期を担う病院も多数参加し、2015年4月の時点で、1580病院となり、病院数では全体の5分の1ほどですが、全国の急性期病床の56%を占めています。これ

は、病床数が多い大規模病院が「DPC対象病院」になっているということを示しています。こうした状況の中、大田病院は2014年度からDPC準備病院となり、DPC参加の基準を満たすよう準備を進めてきました。

① DPCとは「Diagnosis Procedure Combination」の略で、病名・処置・合併症などの因子を組み合わせた日本独自の新しい病気の分類制度で、「診断群分類」とも言います。この分類を用い、急性期入院医療を包括評価するのが、DPCという制度です。

② PDPSとは「Per-Diem Payment System」の略で、「1日当たりの包括支払い制度」を示しています。日本のDPC制度はこの2つを組み合わせる「DPC/PDPS(診断群分類による1日当たりの包括制度)」という仕組みをよっています。



次回は  
大田病院  
における  
DPC制  
度につい  
てお話し  
します。



# リレトーク



リハビリテーション科  
理学療法士2年目 小川 智 貴

入社してから2年が経ち、今年4月で3年目になると考えると不安もありますが、新しい何かに期待し目標を持ってがんばろうとワクワクした気持ちにもなる今日この頃です。リハビリ科だけではなく同期のみんなとは仲良くさせてもらい、飲み会や旅行に行ったりと、思い出は数々あります。この思い出の数々が、この職場に入職してからの財産だと思っています。いずれは皆バラバラになるかもしれませんが、今この楽しい時間を仲間と共有できる、そんな今を大事にしたいと最近思うようになりました。

私は出身が秋田県で、上京することに憧れを感じて東京の職場に就職しました。職場の環境に恵まれ、やりたいことを仕事にできている充実した毎日を送らせても

らっています。東京に出てきて、楽しい毎日を経験させてもらう反面、つらいこともあります。そんな中で、自分が本当にやりたいことが何なのかを見つけ出し、満足のいく結果に結び付けられたらいいなと思っています。

次は4病棟看護師の由利さんをお願いしたいと思います。



## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。年末・年始とかつてない天候に恵まれ、穏やかなお正月を迎えました。「健康のかけはし」も2003年の創刊号からかれこれ50号を迎えようとしています。13年間このかけはしの編集に携わる事ができ、職員の方々や地域の皆さまとの「架け橋」が少しでもできたことに感謝しています。これからも色々な情報を紹介し皆さんに親しんで読んでいただける「かけはし」にしていきたいと思います。今年もよろしくお願い致します。(Y. O)